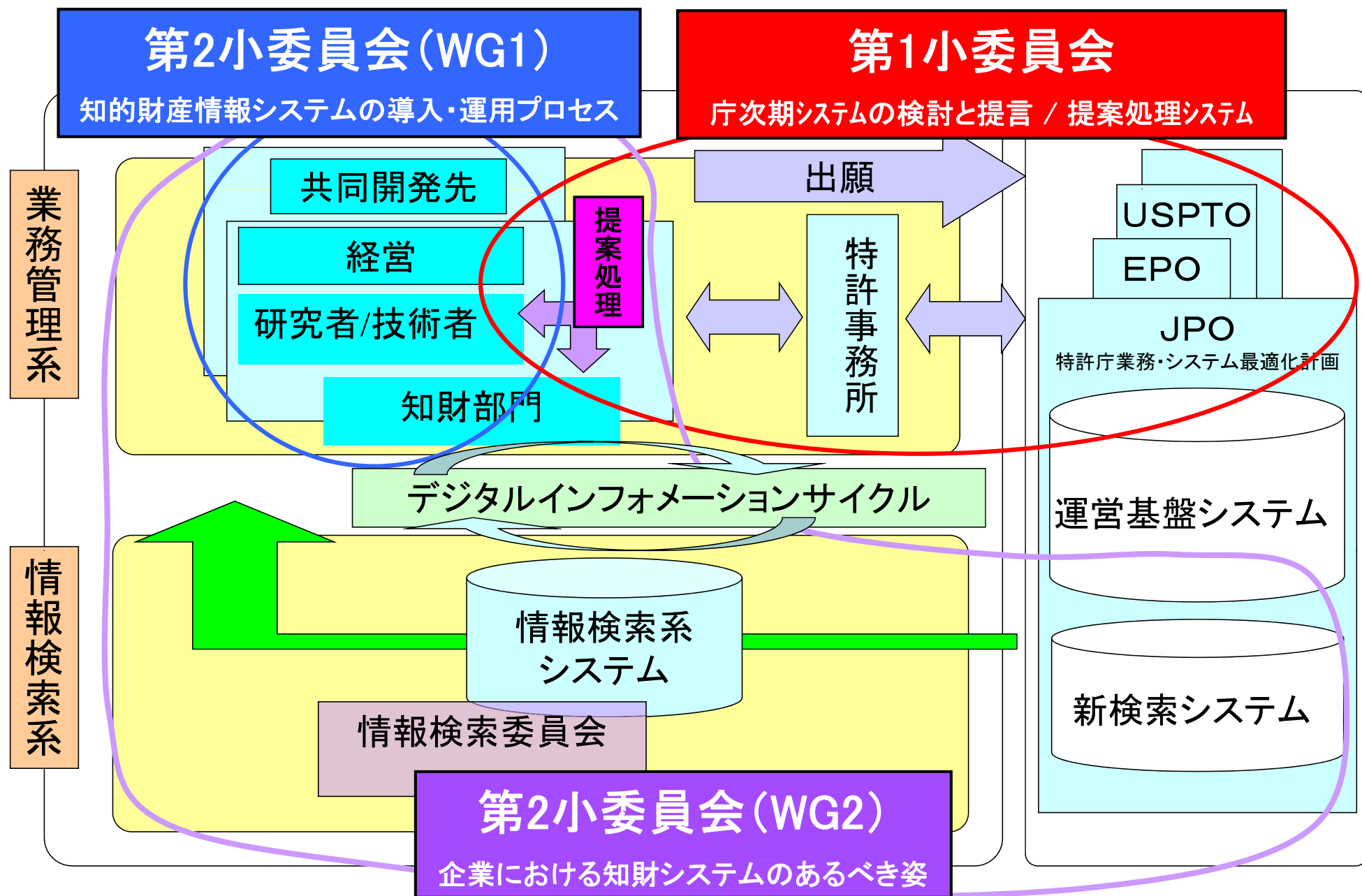


特許情報の流れと情報システム委員会分担テーマ

— 経営に資する情報システムの検討と提言 —



第1小委員会 2009年度活動

特許庁オンライン出願システムの検討と提言

- 部会発表「わかる！インターネット出願」
(2009年7月東西部会、8月関東化学第二商社部会)
- パソコン出願ソフトユーザ連絡会 (2009年3月・11月)
- ペーパーレスニュース 104号発行 (2009年12月)

特許庁の次期システムの検討と提言

- 特許庁との「最適化計画改定」に関する意見交換会 (2009年12月)



5つの目的

1. 発明提案の促進
2. 処理の迅速化
3. 発明提案の選別
4. 情報の一元管理
5. 情報の可視化

「発明提案管理システム」

発明提案の届け出から出願手続き迄を管理するシステム化検討を実施。

- 各社の状況調査 (～2009年10月)
- 課題抽出、目的の整理 (2009年11月)
- 機能・電子譲渡方法の検討 (2009年12月)

知財管理誌 4月号掲載予定

中長期テーマ

△

年度テーマ

△



知的財産情報システムの導入・運用プロセス

テーマ：企業規模に応じた知財管理システムの検討と提言を行う

■本研究の背景

企業規模(知財規模)に適したシステムを使用しているか検証が難しい

■本研究の目的

規模に応じたシステム化の範囲・手段の指標を示し、今後のシステム導入を検討する企業に対して情報提供を行う

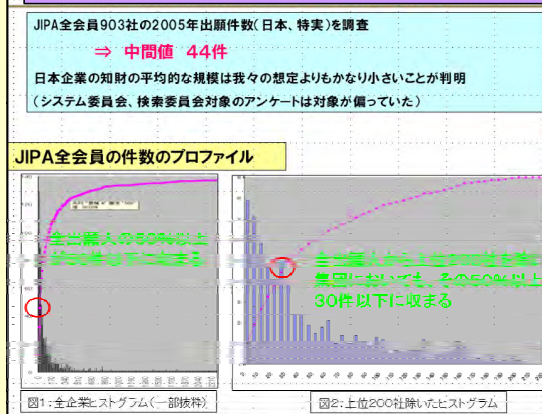
■2009年度の取り組み

JIPA全会員の規模の実態を調査し、その結果を元に全会員向のアンケート調査の実施と結果の解析と提言を行う

■今後

特許庁次期システムに対応した知的財産情報統合システムの検討と提言

① JIPA全会員の出願件数調査



② アンケート作成

③ 回収結果解析



企業における知財情報システムのあるべき姿

テーマ：“経営に資する”情報活用の観点から知的財産情報システムの検討と提言を行う

■本研究の背景

知財情報だけを利用した解析システムでは、企業活動全般に活用できる情報を読み取ることが難しい

■本研究の目的

企業情報、市場情報等と組合せた知財情報解析システムを提言する

■2009年度の取り組み

客観的特許評価について評価方法の検討および評価結果の検証を行いシステム化の提言を行う

■今後

特許庁次期システムに対応した知的財産情報統合システムの検討と提言

目的：権利ごとに価値評価し、情報解析要素の一つとして活用する
評価項目：書誌情報、経過情報に重み付けし一定の計算式により評点をつける

